

## 躍進！躍動！ やるぞ！矢中魂！

令和8年度 矢作中学校体育大会スローガン

### 「飛翔！

### ～夢中で駆けろ！青春の舞台～」



6月5日（金）の体育大会本番に向けて、UP活動の熱も上がってきました。矢中UP活動とは、いわゆる縦割り活動で、学年の枠を越えて取り組むことにより生徒の主体的な姿を促す活動となっています。そして、体育大会当日の午後には、「UP！対抗 矢中演舞」が披露されます。

それぞれのUPは、「旗」「衣装」「踊り」のグループに分かれて活動を進めています。そこでは、3年生が中心となって下級生に伝えたり、手助けしたりする姿が見られ、**上級生としての自覚**も芽生えているように感じられて、**頼もしさ**が伝わってきます。

体育大会に向けた練習や準備を通して、私が育みたいのは、「**主体性**」と「**社会性**」です。

「主体性」で求める姿とは、自らが気づき、考え、実行する姿です。また「社会性」で求める姿とは、仲間とより良く関わる姿です。そこで、私は、生徒同士が関わる活動、人と人とがより良く関わろうとする活動を大切にしたいと考えています。

矢中生に限らず、情報化社会を生きる今の子供たちは、人との「距離感」をうまく取ることを苦手としているように感じられます。相手との距離をうまく取れない不器用さから人間関係の悩みを抱える生徒も増えています。距離が近すぎると、相手を思い通りにしようとしたり、束縛したりすることもあります。一方、極端に離れすぎた結果、無視や排除といったいじめも起きています。人との距離感とは、学ぶべきものであるものの、簡単に身に付くものではありません。経験や安心感、成功体験によって少しずつ身に付くものであると考えています。このUP活動を通して、生徒たちが適切な距離感というものを学び、身に付けることを期待しています。

私たち教職員は、生徒に一方的に指示や指導等をするのではなく、矢中生が笑顔で生き生きと主体的に活動する姿を期待しながら、生徒に活動を委ね、支えていきたいと思えます。

そして、体育大会での成功体験等を通して、矢中生が自己肯定感や自己有用感を高め、生涯にわたり、自分たちの生活や生き方をより良くしていこうとする姿を心から願っています。

### UP！活動の一コマから…

